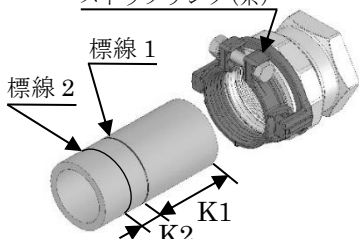


# SKX® 施工手順 (水道用銅管 1 形用)

## ①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量 (K 寸) を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。**分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで挿し込んで下さい。**

ストップリング (茶)



- 注 1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。  
・滑剤の塗布は不要です。  
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

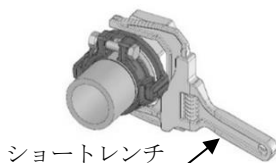
## ②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め (**素手もしくはスベリ止め付グローブで締めなくなるまで**) した後、マジック等で **マーキング** して下さい。

- 注 2) ・十分な手締め (素手) は 8N・m 程度です。  
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。  
・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

## ③キャップ本締め

ショートレンチにて **キャップを標準締付回転数 (参考締付トルク)** で締め付けて下さい。

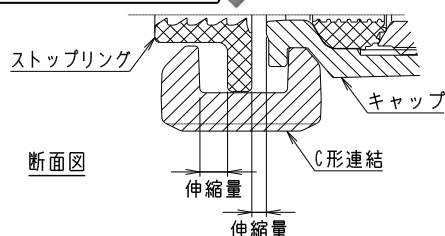
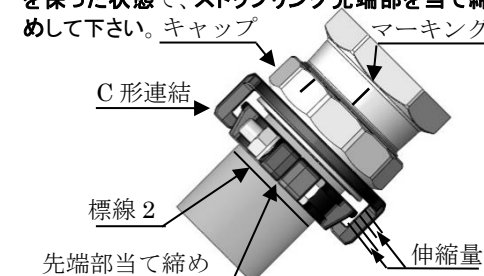


- 注 3) 低温時は通常より 1/4 回増し締めして下さい。

## ④ストップリング本締め

C 形連結を中心方向に **押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。**

**ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。** **キャップ** **マーキング**



- 注 4) 当て締め後さらに **締め付けすぎると破損などの不具合** が生じることがあります。

- 注 5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

- 注 6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

## ⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

**ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを確認** してください。

キャップとストップリングの **締め忘れのないように確認** を行って下さい。

## 《管の取り外し》

- ・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで管と分離可能です。 (**分解不要**)  
外れにくい場合は、**ストップリング締付部を開放工具で広げることにより、管と分離可能です。 (分解不要)**

| 管<br>呼び径 | SR<br>呼び径<br>(茶) | 本体<br>呼び径 | K (mm) |           | キャップ           |                | ストップリング          | 六角<br>対辺 |    |      |
|----------|------------------|-----------|--------|-----------|----------------|----------------|------------------|----------|----|------|
|          |                  |           | K1     | K2        | 十分な手締め<br>後回転数 | 参考締付トルク<br>N・m | (参考締付トルク<br>N・m) |          |    |      |
| 13       | Cu①13            | V13       | 50     | +5<br>-0  | 5              | ※1 1/4~1/2     | 当<br>て<br>締<br>め | (6)      | 10 |      |
| 16       | Cu①16            |           |        |           |                | Cu①20          |                  |          |    | 55   |
| 20       | Cu①20            |           |        |           |                |                |                  |          |    |      |
| 25       | Cu①25            | Su25      |        |           |                |                |                  |          |    |      |
| 30       | Cu①30            | 25        |        |           |                |                |                  |          |    |      |
| 40       | Cu①40            | 32        | 60     | +10<br>-0 | 5              | (20)           |                  |          |    | (15) |

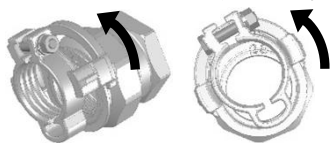
※1) 手締めで締め切り切りますが、性能に問題ありません。

※太字：下限値

## SKXストップリング（SR）交換手順

### ①C形連結取り外し

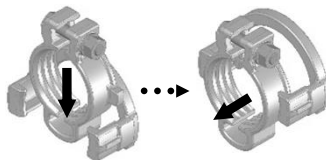
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



### ③ストップリング交換

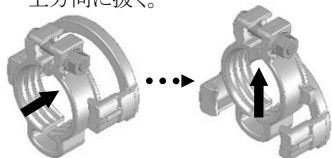
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



### ②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方方向に抜く。



### ④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

